

1. 科目名（単位数）	統計学（2 単位）	3. 科目番号	GELA1121
2. 授業担当教員	古谷 大樹		
4. 授業形態	講義・演習・ディスカッション形式の授業を行います	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	我々の身の回りには実に多くの統計的データが存在する。しかし、それらについての正しい見方を知らない と、日常生活において重大な間違いを犯してしまうことにもなりかねない。理系・文系の枠に関係なく、統計 学の知識は、データを正しく読み取り、正しく理解するために必要な教養のひとつである。この統計学のクラ スでは、統計に対する正しい知識を身につけることと、将来自分でデータを集め分析できるようになることを 目標に、統計学の基本的な概念の紹介から始まり、記述統計、推測統計まで幅広く学習していく予定である。		
8. 学習目標	日常生活における統計学的なものの見方・考え方を身につけるとともに、レポート・論文の中に記載された統 計に関する記述箇所を正しく読み取れるようになること、また自らが行った統計分析結果について正しく記述 できるようになることが、本講義の主たる学習目標である。		
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	レポートについては、講義内で説明をする。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】なし。 【参考書】山田剛史・村井潤一郎『よくわかる心理統計』ミネルヴァ書房。		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 1. 統計学に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 統計学的な思考が身についたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。 1 授業への積極的参加 総合点の20％ 2 課題（テスト、レポート、発表など）総合点の80％		
12. 受講生への メッセージ	今後の心理学の講義にも活用される統計法の基礎を講義する。そのため、高い緊張感と集中力が求められる講 義となる。積極的に講義に参加することを求める。また、理解度の進行具合によって、講義の内容を変更する 可能性もある。		
13. オフィスアワー	初回の講義中に説明する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション	事前学習	シラバスを熟読する。
		事後学習	授業スケジュールを確認する
第2回	尺度水準	事前学習	前回の講義の内容を復習する。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第3回	代表値	事前学習	前回の講義の内容を復習する。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第4回	散布度	事前学習	前回の講義の内容を復習する。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第5回	標準化	事前学習	前回の講義の内容を復習する。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第6回	データの図表化	事前学習	前回の講義の内容を復習する。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第7回	散布図・共分散	事前学習	前回の講義の内容を復習する。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第8回	相関分析	事前学習	前回の講義の内容を復習する。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第9回	クロス集計表・連関係数	事前学習	前回の講義の内容を復習する。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第10回	正規分布	事前学習	前回の講義の内容を復習する。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第11回	標準偏差・標準誤差	事前学習	前回の講義の内容を復習する。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第12回	統計的仮説検定	事前学習	前回の講義の内容を復習する。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第13回	t 検定（1）	事前学習	前回の講義の内容を復習する。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第14回	t 検定（2）	事前学習	前回の講義の内容を復習する。
		事後学習	講義の内容を復習する。
第15回	まとめ	事前学習	今までの講義の内容を復習する。
		事後学習	講義の内容を復習する。